

短 報

島根県産ゴギに寄生していたマスウキブクロセンチュウ*

長澤和也・河合幸一郎

Salvelinema salmonicola (Nematoda: Cystidicolidae) parasitic in gogi charr, *Salvelinus leucomaenis imbricus* (Salmonidae), in Shimane Prefecture, Japan

Kazuya NAGASAWA and Koichiro KAWAI

Abstract The gogi charr, *Salvelinus leucomaenis imbricus* Jordan and McGregor, 1925, is endemic to western Honshu, Japan, and its parasite fauna remains poorly studied. The cystidicolid nematode *Salvelinema salmonicola* (Ishii, 1916) was collected from the swimbladder of gogi charr in the Mikazura and Akadani rivers, tributaries of the Takatsu River, Shimane Prefecture, Japan on 8 August 2017. These collections represent a new host record for *S. salmonicola*.

マスウキブクロセンチュウ (鱒鰯線虫) *Salvelinema salmonicola* (Ishii, 1916) は北太平洋の北部沿岸諸国の淡水域に生息するサケ科魚類の鰾に寄生する線虫類の 1 種である (Moravec and Nagasawa, 1999). 最近, 筆者らはわが国の中国地方の山地溪流に固有であるサケ科魚類のゴギ *Salvelinus leucomaenis imbricus* Jordan and McGregor, 1925 の寄生虫相を調べた際, マスウキブクロセンチュウの寄生を認めたので報告する.

2017 年 8 月 8 日, 島根県を流れる高津川水系の 3 河川でゴギ合計 8 尾を釣獲した: 高尻川 (鹿足郡吉賀町奈良原で 4 尾); 三葛川 (匹見川の支流, 益田市匹見町紙祖三葛で 1 尾); 赤谷川 (匹見川の支流, 益田市匹見町道川で 3 尾). これらを活魚として広島大学に持ち帰って寄生虫相を調べた. 見出された線虫は熱湯で固定後, 70% エタノール液中に保存した. 1 部の線虫は 99.5% エタノール液で固定・保存した. これら標本は, 後日, 国立科学博物館に収蔵される予定である.

三葛川と赤谷川で採集したゴギにマスウキブクロセンチュウが寄生していた. 寄生数は三葛川産ゴギ 1 尾に 4 個体, 赤谷川産ゴギ 3 尾中 2 尾にそれぞれ 8 個体と 10 個体であった. 高尻川産ゴギに寄生は見られなかった.

わが国で本線虫の宿主として知られているサケ科魚類は以下の 3 属 10 種・亜種である: サクラマス (ヤマメ) *Oncorhynchus masou masou* (Brevoort, 1856), アマゴ *O. masou ishikawae* Jordan and McGregor, 1925, サケ *O. keta* (Walbaum, 1792), ギンザケ *O. kisutch* (Walbaum, 1792), ペニザケ (ヒメマス) *O. nerka* (Walbaum, 1792), ニジマス *O. mykiss* (Walbaum, 1792), ブラウンマス *Salmo trutta* Linnaeus, 1758, アメマス (エゾイワナ) *Salvelinus leucomaenis leucomaenis* (Pallas, 1814), ニッコウイワナ *S. leucomaenis pluvius* (Hilgendorf, 1876), オシヨロコマ *S. malma krascheninnikovi* (Taranetz, 1933) (Nagasawa *et al.*, 2015 を参照). これまでにゴギから本線虫の記録はなく, ゴギは新宿主である.

島根県では益田川産ヤマメから本線虫が見出されている (Nagasawa *et al.*, 2015). 今回の採集は島根県における本線虫の第 2 記録となる.

ゴギは, 分布域が中国山地に限られていることなどから, 寄生虫研究はほとんど行われてこなかった. 胃内に鉤頭虫が見つかったとの情報 (金沢・中村, 1982) のほか, チョウモドキ *Argulus coregoni* Thorell, 1864 の記録 (Nagasawa and Kawai, 2008) があるのみである. 今後, ゴギの寄生虫相の解明が待たれる.

ゴギの採集に協力された広島大学の三上 岳氏と中村虎之介氏に感謝する.

[文献]

金沢成三・中村慎吾 (1985) 比婆科学, (122):1-6.
Moravec, F. and K. Nagasawa (1999) *Folia Parasitologica*, **54**: 75-79.
Nagasawa, K. and K. Kawai (2008) *J. Grad. Sch. Biosp. Sci., Hiroshima Univ.*, **47**: 23-28.
Nagasawa, K., A. Akiyama and K. Kawai (2015) *Biosphere Sci.*, **54**: 75-79.

(長澤・河合: 広島大学大学院生物圏科学研究科)

*ホシザキグリーン財団委託業績 第 120 号